

FAX通信

2011年3月25日



各組合・地域労連・各団体 御中

青森県労働組合総連合

TEL 017-762-6234、FAX 017-729-2186

メール ao110@kenrouren.jp

【発信者】事務局長 有馬美恵

支援の心つぎつぎ！義援金・物資ぞくぞく！本当にありがとう！



本日第4弾は宮城(仙台と気仙沼)に行ってきます！

昨日から続々義援金・物資が集まっています。県教組・高教組・医労連・民医労・健生労組から各10万円以上が、そして被災地をかかえてたいへんな三八地労連からも10万円が届きました。その他青銀労組・下北地区労連・私教連・年金者組合・民青同盟・個人から、総計70万円が集まりました！昨日の時点で40万円以上を県労連から仮払いしていて、内心ひやひやしていましたが、さっそく20万円分の物資を知り合いのスーパーに依頼しました。また、物資も次々運ばれています。特に、宮城・岩手両県とも圧倒的ガソリン・灯油不足なので、ガソリンを入れる缶、灯油のポリ容器の協力が助かりました（青森市内のスーパーでは品切れ状態で手に入らないので）。火曜日からは被災地にどんどん物資を持っていけるのは、みなさんのおかげです。（自治労連では独自にカップ麺を千個届けたそうです）県労連に結集する仲間のみなさんのみならず、農民連・新婦人・民青同盟・民医連・岩手農林支部さんなどなど、多くの団体から応援いただいています。特に、無償でトラックを1週間貸してくれた中高年雇用福祉事業団と菅野運転手を派遣してくれた建交労に感謝します。みなさん、本当にありがとうございます！！

さて、昨日は岩手県に入りました。いわて労連からお話を聞くと、漁業の深刻さを心配していました。定置網は1枚1億円するのに全部流され、漁協や市場が破壊された。また、高校生の進学問題、治安が悪化するなか、夜に街灯がつかない外を歩くのが怖いと女性が言っていたそうです。私たちはその後釜石市の拠点となっている事務所に行き、物資を届け、地元で支援活動を担っている車2台と事務所の近所の方の車1台にガソリンを供給し激励してきました。その近所の方は、「家族5人が隣町に避難しているが迎えに来てほしいと言われていた。でもガソリンがなく困っていた。本当にありがとうございます」と。釜石に行く途中では、私たちの「緊急車両指定」のマークを見た女性が「被災地に入るのでしたらぜひ物資のカンパをしたい」と家に走り、靴箱から10足くらいのきれいな靴とセーターを紙袋に入れて提供してくださいました。みなさんの善意を運ぶことができ私たちもうれしいです。引き続きがんばります！



灯油を求める長蛇の列



現地で支援に活躍する車に



釜石の中心商店街は壊滅していた

【今後の予定】

今日は宮城県労連から特に要望のあったガソリン・灯油・軽油をたくさんと、10万円分の物資を積んでいきます。明日3/26は岩手県入り。来週3/28からは、中弘南黒地区労連の宣伝カーをお借りし、物資が一定集まったら搬送することにします。被災地は本当に「なんにもない」状態で、今後仮設住宅で住むとしてもマイナスからのスタートです。生活用品は何でも必要ですので、無期限で集めます。よろしくお祈りします！